

【切手デザイン】



日刀保 たたら吹き伝承

～鉄づくり千年が生んだ物語～  
 千年の昔から続きたたら製鉄の歴史は、この地域の風土に大きな影響を与えました。いまでもその歴史に触れることのできる場所が多く残ることが日本遺産の認定に繋がりました。



- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。  
 写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

# いづものくに 出雲國たたら風土記

～鉄づくり千年が生んだ物語～



日本古来の鉄づくり「たたら製鉄」で繁栄した出雲の地では、今日もなお世界で唯一たたら製鉄の炎が燃え続けています。たたら製鉄は、優れた鉄の生産だけでなく、原料砂鉄の採取跡地を広大な稲田に再生し、燃料の木炭山林を永続的に循環利用するという、人と自然とが共生する持続可能な産業として日本社会を支えてきました。また、鉄の流通は全国各地の文物をもたらし、都のような華やかな地域文化をも育みました。今もこの地は、神代の時代から先人たちが刻んできた鉄づくり千年の物語が終わることなく紡がれています。

にっとうほ たまはがわせいそう ぶ でんしゅう 奥出雲町 国選定保存技術

## 日刀保たたら 玉鋼製造(たたら吹き)伝承

1300年以上にわたり、この地の職人だけに継承される世界唯一の製鉄法。これによりつくられる「玉鋼」は、日本刀の素材とされ、全国各地の刀匠の手に渡る。現代の最先端技術をもってしても生み出すことのできない、世界に誇る日本の技である。



すがや さんない 雲南市 国指定重要有形民俗文化財

## 菅谷たたら山内

世界で唯一現存する実際にたたら製鉄を行った鉄の生産拠点。製鉄作業を行った「高殿」と従事者の集落がほぼそのまま残っており、たたら製鉄によって隆盛を極めた往時を彷彿とさせる。(写真は、操業当時の姿に修復された高殿)



かなやごじんじゅ 安来市 県指定有形文化財

## 金屋子神社

この地に鉄づくりを伝えた「金屋子神」を祀る金屋子神社の総本社。境内の灯笼に刻まれた全国各地の名称が、その信仰の広がり伝える。現在も鉄産業に関わる人々の尊崇を集める。



たなべけどぞうぐん よしだ まちな 雲南市

## 田部家土蔵群と吉田の街並み

松江藩鉄師頭取・田部家のもとで「企業城下町」として栄えた吉田の街並み。田部家本宅を中心とした本町通り、寺院が並ぶ山側、商店等サービス機能の残る川原町筋など今でも往時の面影を垣間見ることができる。



さくらいけじゅうたく 奥出雲町 国選定重要文化的景観 国指定重要文化財

## 櫻井家住宅

松江藩主・松平治郷公の御成の際の本陣宿をつとめ、以後藩主が6度も訪れたといわれる。庭園につくられた「岩浪の滝」は、たたら製鉄の鉄穴(かな)流し(砂鉄を採る作業)の技術に応用したもの。澄んだ阿井川の流れと紅葉が織り成す秋の庭園は圧巻。



いとはらけじゅうたく 奥出雲町 国選定重要文化的景観 国登録有形文化財

## 絲原家住宅

たたら製鉄の原料である砂鉄を採取した場所を出雲流産園として築庭。贅を凝らした佇まいは、松江藩主のほか国内外の文化人も多く訪れ、記念館には彼らが残した文物が展示されている。



おくいずも せいてつおよ たなだ ぶんかてきけいかん 奥出雲町 国選定重要文化的景観

## 奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観

たたら製鉄に用いる砂鉄を採取した鉄穴流しの跡地は、棚田として整備され今に輝きを放つ。この棚田が、米どころの西の横綱として「仁多米」を生み、多くの食通をうならせている。



みんようやすぎふし 安来市 市指定無形文化財

## 民謡安来節

安来節は鉄の積出港として栄えた安来でうまれた民謡。鉄の交易により全国から人が集まった安来港には、各地の民謡がもたらされ、安来節のもとになったといわれる。歌詞には鉄の運搬の様子などが表現されている。



いずもかぐら 雲南市

## 出雲神楽

奥出雲地方が舞台のヤマタノオロチ退治神話は、「ヤマタノオロチ」を砂鉄採取の影響で氾濫する「斐伊川」になぞらえるなど、たたら製鉄の歴史に重ねて語り継がれてきた。現代では、神楽を通して神代の世界を体感することができる。



えいが ぎむらい 第40回モントリオール世界映画祭 ワールドコンペティション部門 最優秀芸術賞受賞作品

## 映画 たたら侍

日本文化発祥の地ともいわれる出雲を舞台に一人の青年の葛藤や成長を通して、極めることの難しさ・大切さ“武士道精神”という日本人にとって普遍的テーマを描いた、本格時代劇映画。2017年5月20日全国公開。

監督：錦織良成 エグゼクティブプロデューサー：EXILE HIRO

